

経営比較分析表（令和3年度決算）

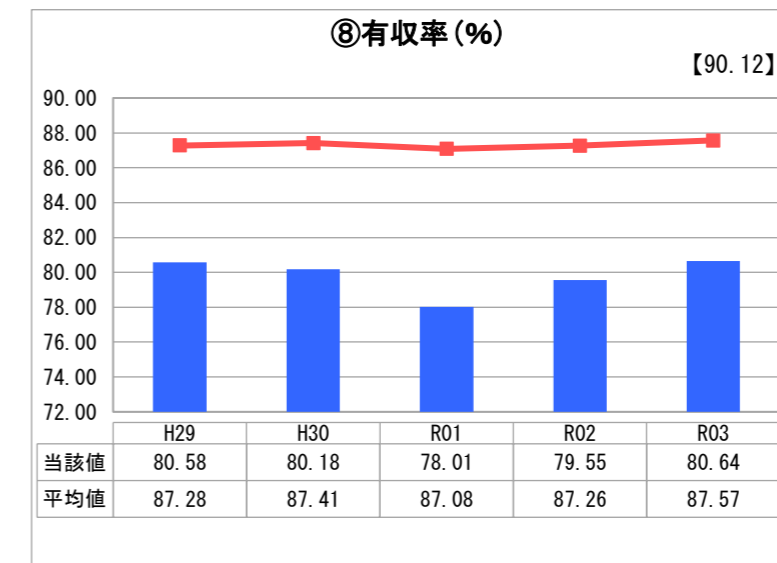
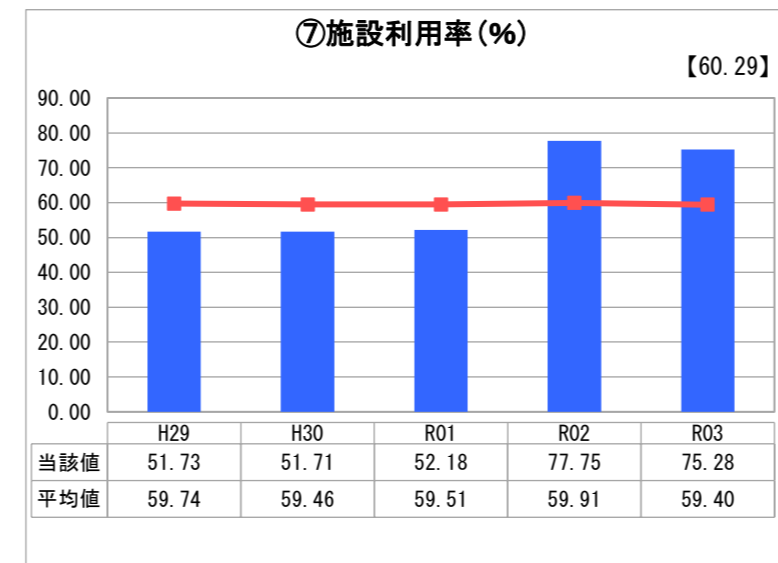
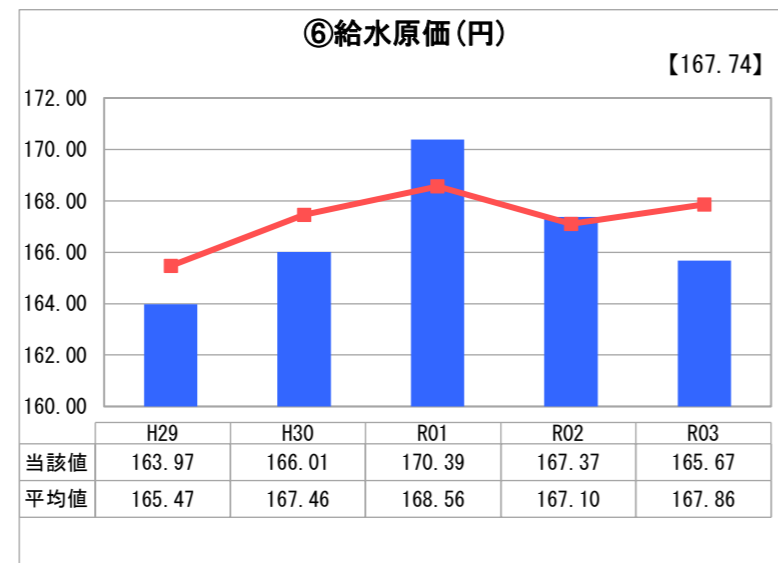
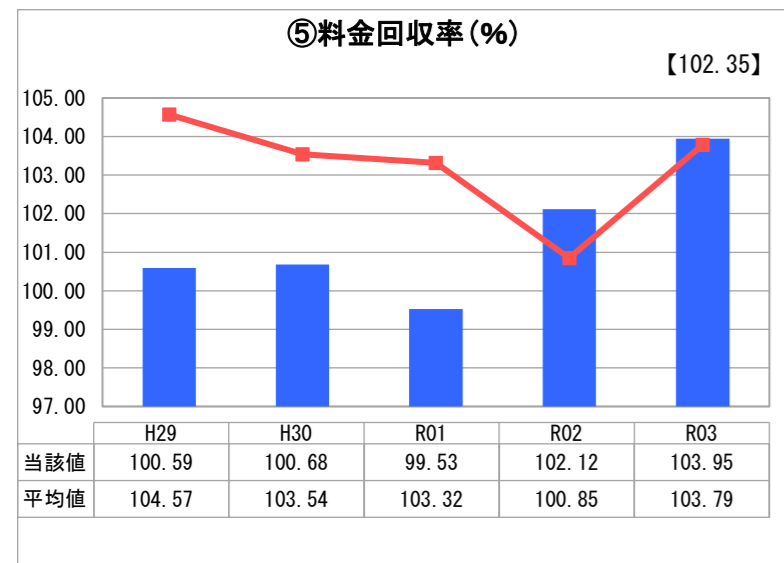
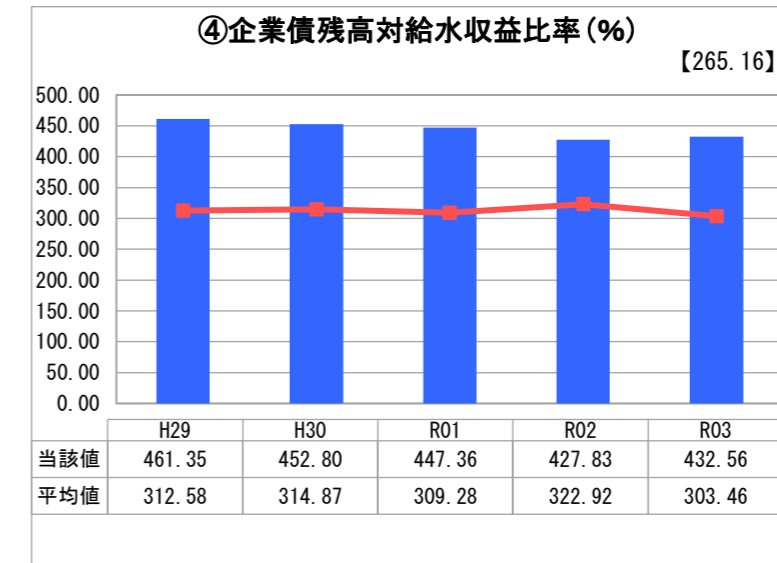
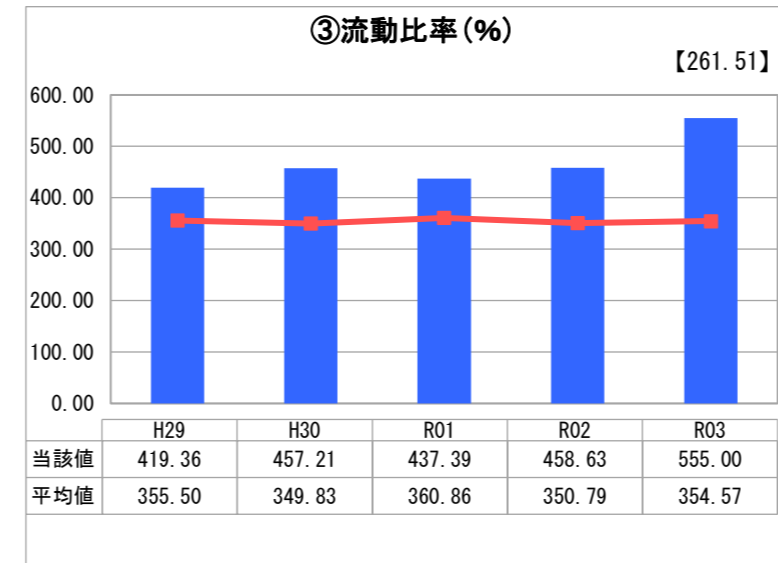
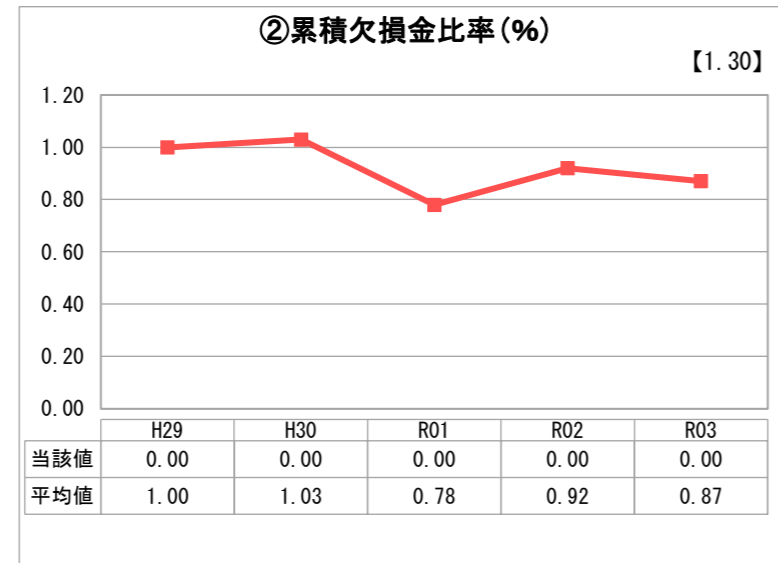
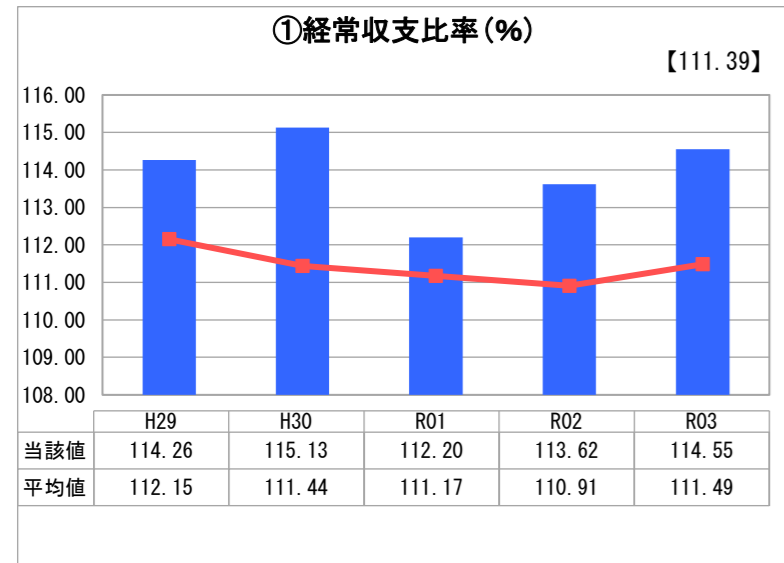
福島県 白河市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	66.16	96.31	2,343	

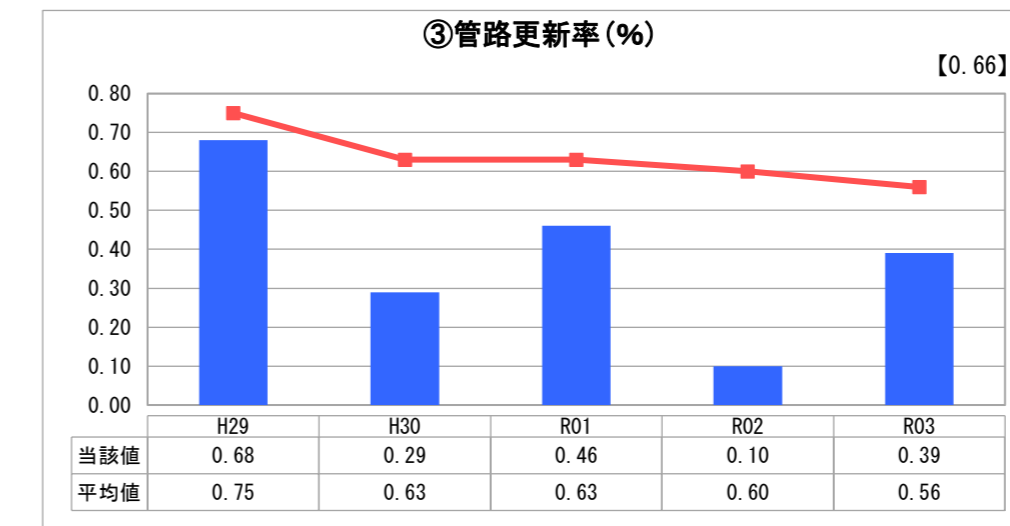
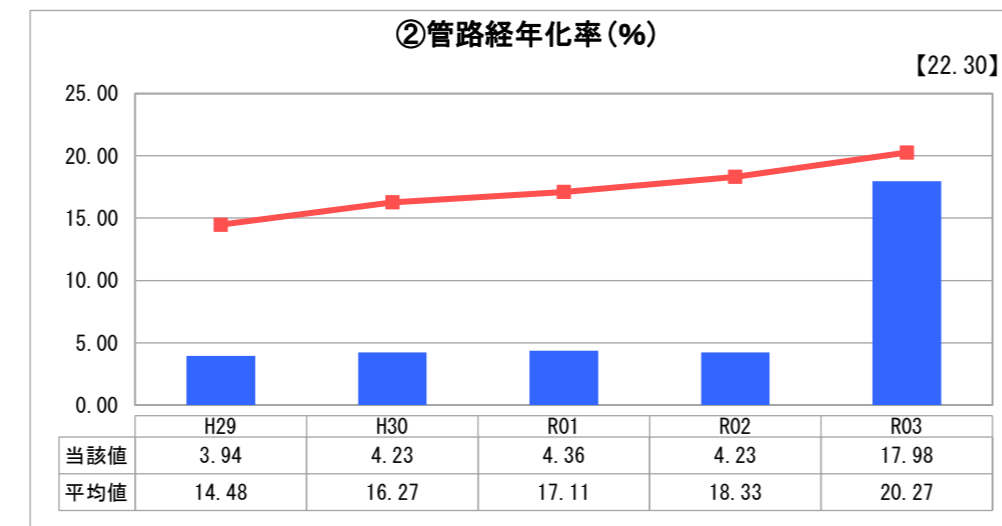
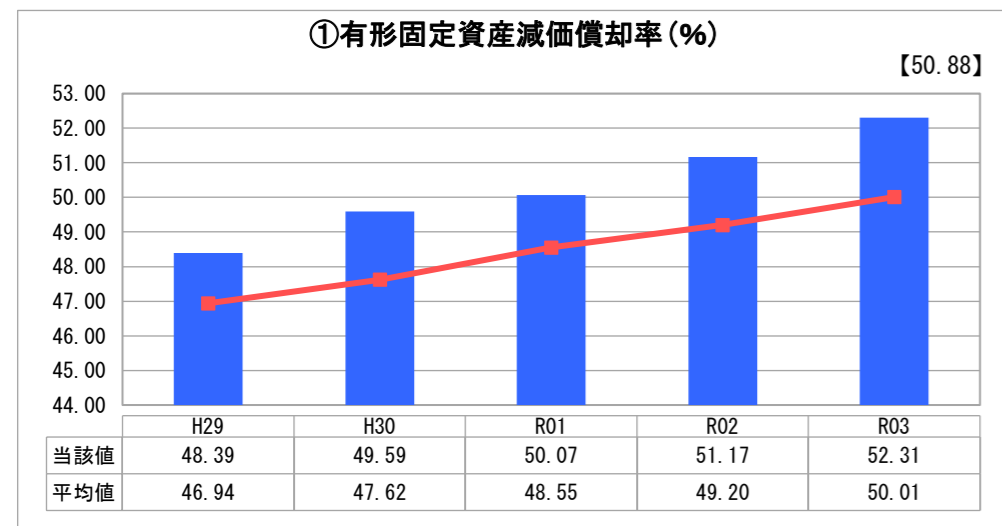
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
59,430	305.32	194.65
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
56,886	155.90	364.89

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[]	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、③流動比率の各指標が類似団体平均値を上回り、財務の健全性や支払能力に問題はない。
 ④企業債残高対給水収益比率は、給水収益の減少により、前年度より増加した。
 ⑤料金回収率は給水原価が減少したため、前年度より水準が高くなった。
 ⑥給水原価は前年度より費用が減少し、類似団体平均値を下回った。
 主な減少要因としては、減価償却費や消費税処理に伴う雑支出が減少したことが挙げられる。
 ⑦施設利用率については、類似団体平均を上回ったものの、年間配水量が減少したことにより数値が減少した。
 ⑧有収率は前年度より上昇し数値の改善が見られたが、類似団体平均値と比べ低い。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は増加傾向にあり、施設の老朽化が進んでいる。
 ②管路経年化率は対象を基幹管路から全管路へ修正したため、前年度より数値が大きく上昇した。
 ③管路更新率は前年度より上昇したものの、類似団体平均値を下回っているため、令和5年度策定の第2期白河管路更新計画により、効果的な更新をすすめる。

全体総括

経営の健全性・効率性の指標は前年度より改善されており、類似団体平均値と比較しても、良好であるが、前年度より給水収益が減少し、今後更なる人口減少により、厳しい経営環境が予想される。
 老朽化の状況が類似団体平均値と比較すると低水準であり、施設の維持管理費及び管路更新の計画的実施による建設改良費の増加が見込まれる。
 今後将来の更新需要に備え、施設の統廃合など効率的な運営を行うと共に、官民連携・広域化を検討し、経費の削減に努めることで、経営基盤の強化とサービス向上を目指していく。